

医療施設長様

鹿児島市医師会臨床検査センター

ヘリコバクター・ピロリ感染診断および除菌判定に関する検査のご案内

日頃より当検査センターをご利用いただき厚く感謝申し上げます。

平成 25 年 2 月、ヘリコバクター・ピロリ感染の診断・治療を対象に「内視鏡検査において胃炎の確定診断がなされた患者」を追加適用する通知で、より多くの患者様が保険診療にてヘリコバクター・ピロリ菌感染診断や除菌を行うことができるようになりました。

当検査センターにおきましても、『尿素呼気試験』『ヘリコバクター・ピロリ IgG 抗体』の検査を実施し当日報告を可能としております。ご利用いただきますようお願いいたします。

1 対象患者

- 内視鏡検査又は造影検査において胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の確定診断がなされた患者
- 胃 MALT リンパ腫の患者
- 特発性血小板減少性紫斑病の患者
- 早期胃癌に対する内視鏡的治療後の患者
- 内視鏡検査において胃炎の確定診断がなされた患者

2 感染診断の検査法と特徴

- ① 迅速ウレアーゼ試験・・・生検組織を用い迅速で簡便であるが保存性はありません。
- ② 鏡検法・・・組織診断の同時性があるが判定者による技術の相違があります。
- ③ 培養法・・・特異性の高い検査ですが施設間の精度の問題や判定まで 7 日間要します。
- ④ 抗体測定・・・感度が高くスクリーニングとして有用です。
- ⑤ 尿素呼気試験・・・簡便で感度・特異度ともに高く除菌判定の早期診断が可能です。
- ⑥ 糞便中抗原測定・・・簡便で小児の検査としても有用です。

3 検査法の算定

除菌前感染診断：上記 6 項目のいずれかの検査。または①～②の同時実施、④～⑥のうち 2 項目同時実施した場合に初回実施に限り算定可能

除菌後感染診断：除菌終了後 4 週間以上(抗体検査は 6 か月)経過後、上記 6 項目のいずれかの検査。または④～⑥のうち 2 項目同時に実施した場合に初回実施に限り算定可能

*当検査センターでは、④抗体測定(ヘリコバクター・ピロリ IgG 抗体)と⑤尿素呼気試験(大塚製薬ユービット)を実施しておりますが、両検査とも非侵襲的で簡便であり、検査結果も当日中に報告可能で迅速性にも優れています。また、尿素呼気試験は胃潰瘍診断ガイドラインで検査法として推奨されており、将来の胃癌予防のための、診断・除菌の検査としても有用です。ご利用いただきますようお願い申し上げます。